

- [11] (1) insisted, accept
 (2) suggested, should start
 (3) necessary, tell
 (4) surprising, should teach

解説

- (1) that節を使って要求や提案内容を表す場合、that節では動詞の原形を使うので、acceptとする。insistは「要求する」という意味を表す。
 (2) that節を使って要求や提案内容を表す場合、that節では動詞の原形を使うか、shouldを伴うので、should startとする。suggestは「提案する」という意味を表す。
 (3) that節を使って必要なことや重要なことを表す場合、that節では動詞の原形を使うので、tellとする。necessaryは「必要な」という意味を表す。
 (4) 感情や判断を表すthat節ではshouldを使うので、should teachとする。shouldを使わずに、動詞を適切な形に変える場合もある。

- [12] (1) wore
 (2) had visited
 (3) is
 (4) would succeed

解説

- (1) 「その女性がネックレスをつけていた」のは「私が気づいた」時点と同じ時なので、過去形を使ってworeとする。
 (2) 「(トムが)その町を訪れた」のは「トムが言った」時点よりも以前のことなので、過去完了形を使ってhad visitedとする。
 (3) 「海王星が太陽から約45億キロメートル離れている」という事実は変わらないことなので、主節の動詞の時制にかかわらず、現在形を使ってisとする。
 (4) 「おじが言った」時点では、「私がビジネスで成功する」のは未来のことなので、助動詞willの過去形wouldを使って、would succeed in businessと過去の時点での

未来を表す。

- [13] (1) said, she would
 (2) told, he had
 (3) asked, where I was
 (4) asked, if[whether] he had attended

解説

- (1) 「母は『私はすぐに戻る』と言いました」
 「母はすぐに戻ると言いました」
 間接話法で伝える場合には、伝達動詞の選択、代名詞の変化、時制の一致に注意する。〈say, "...〉→〈say that ...〉になる。発言の内容“I'll be back right away.”の中のIとは、主節の主語のMy motherのことなので、話し手の視点で考えれば、I→sheとなる。また、助動詞は時制の一致で、will→wouldとなる。
 (2) 「マイクは私に『私はCDをたくさん持っています』と言いました」
 「マイクはCDをたくさん持っていると言いました」
 伝達動詞は〈say to +人, "...〉→〈tell +人 +that ...〉になる。発言の内容“I have a lot of CDs.”の中のIとは、主節の主語のMikeのことなので、話し手の視点で考えれば、I→heとなる。また、動詞は時制の一致で、have→hadとなる。
 (3) 「ユミは私に『あなたはどこに行くつもりですか』とたずねました」
 「ユミは私にどこに行くつもりかをたずねました」
 発言の内容が疑問詞で始まる疑問文の場合、伝達動詞はaskを用いて、〈say to +人, "...?〉→〈ask +人 +疑問詞 +S +V ...〉の語順になる。発言の内容“Where are you going?”の中のyouとは、主節のmeのことだから、話し手の視点で考えれば、you→Iとなる。また、動詞は時制の一致で、are→wasとなる。
 (4) 「私はジョンに『パーティに出席しましたか』とたずねました」

「私はジョンにパーティに出席したかどうかたずねました」

発言の内容がYes / No疑問文の場合、伝達動詞はaskを用いて、〈say to +人, "...?〉→〈ask +人 +if[whether] +S +V ...〉になる。発言の内容“Did you attend the party?”の中のyouとは、主節のJohnのことなので、話し手の視点で考えれば、you→heとなる。また、動詞は時制の一致で、did ... attend→had attendedとなる。

- [14] (1) was not until, that
 (2) had hardly[scarcely], when[before]
 (3) It has been, since
 (4) It won't be long

解説

- (1) It is[was] not until ~ that ...は強調構文で、「~になって初めて…」という意味を表す。同じ意味をI didn't hear about that accident until yesterday.でも表すことができる。
 (2) hardly[scarcely] ~ when[before] ...は「~するとすぐに…」という意味を表す。これは非常に改まった表現で、as soon as ~を使うのが一般的である(As soon as I left home, it began raining.)。
 (3) It has been [It is] ~ since ...は「…してから~になる」という意味を表す。
 (4) It won't be long before ...は「まもなく…するだろう」という意味を表す。

- [15] (1) They insisted that Tom pay for the lost CD.
 (2) I thought she had apologized to Ken for her rudeness.
 (3) Mr. Toda told Aya that she had to turn her smartphone off in class.

解説

- (1) 「彼らはトムに、紛失したCDの代金を支

払うよう要求しました」
 that節を使って要求や提案内容を表す場合、that節では動詞の原形を使う。insistは「要求する」という意味を表す。

- (2) 「私は彼女がケンに非礼を詫びたのだと思っていました」
 ここでは、「彼女が詫びた」のは「私が思っていた」のよりも以前のこととなるので、過去完了形で表し、had apologizedとする。〈apologize to +人 +for ~〉で「人へのことに対して謝る」という意味を表す。
 (3) 「トダ先生はアヤに、授業中はスマートフォンの電源を切らなければならないと言いました」
 ここでは、時制の一致で、have toを主節の動詞に合わせて、過去形had toとする。

- [16] (1) It is important that the leader (should) make no exceptions.
 (2) I learned (that) honesty is the best policy.
 (3) It was not until the next day that I understood what he (had) said.
 (4) My brother said to me, "Let's try it[that] again."

解説

- (1) that節を使って必要なことや重要なことを表す場合、that節では動詞の原形を使うか、shouldを伴うので、(should) make no exceptionsとする。
 (2) 変わらない事実やことわざなどは現在形のままでよいので、honesty is the best policyの動詞は現在形isで表す。
 (3) 「~になって初めて…」はIt was not until ~ that ...で表す。「私が理解した」という過去の時点よりも「彼が言った」のは前のことなので過去完了形had saidとするのが原則だが、過去形saidが使われることもある。
 (4) 「…しよう」をlet's ...で表す。